

ユーロ圏金融政策（2019年9月）

財政政策の出番

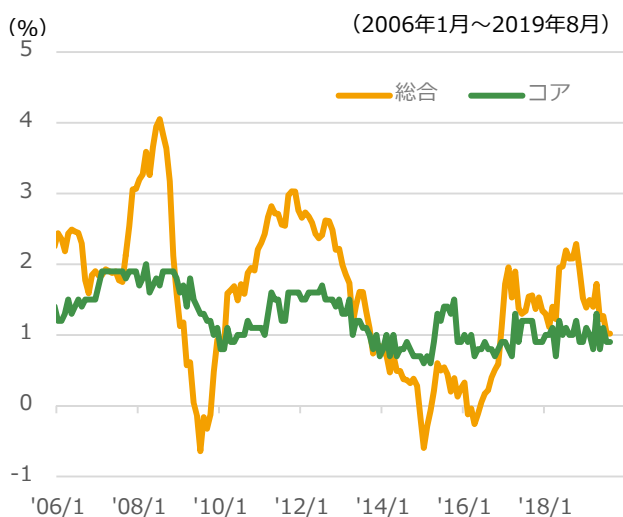
2019年9月13日

強力な金融緩和のパッケージ

2019年9月12日（現地、以下同様）、ECB（欧州中央銀行）は市場の期待を上回る金融緩和のパッケージを打ち出しました。具体的には、利下げ、量的緩和の再開、銀行への長期資金供給策の条件緩和などです。利下げは2016年3月以来で、銀行がECBに余剰資金を預ける際の金利（中銀預金金利）を▲0.4%から▲0.5%へ引き下げました。また、政策金利が現行以下の水準にとどまると予想する期間として、少なくとも2020年半ばまでの表現を、物価目標の実現がしっかりと見通せるまでに改め、より包括的な指針を示しました。量的緩和は昨年12月で終了していましたが、それを再開し、月200億ユーロのペースで、国債を中心に新規に資産を購入することになります。量的緩和は利上げを開始する少し前まで継続する方針ですが、具体的な期限の定めはありません。今回の金融緩和はユーロ圏の景気減速の長期化、貿易や地政学上の下振れリスクの継続、インフレ見通しの下方修正などに対処するためと説明されました。

もっとも、今回の理事会の眼目は財政政策の必要性を強調した点にあると思われます。数年来の景気回復の担い手はこれまで金融政策であったが、効果的な需要創出のためには今や財政政策が主たる政策手段であるべきで、この点について理事会は完全に意見が一致したと、ドラギ総裁は明言しました。極めて緩和的な金融環境の下、ドイツを先導役に、財政に余裕のある国々の拡張的な財政政策が待たれます。

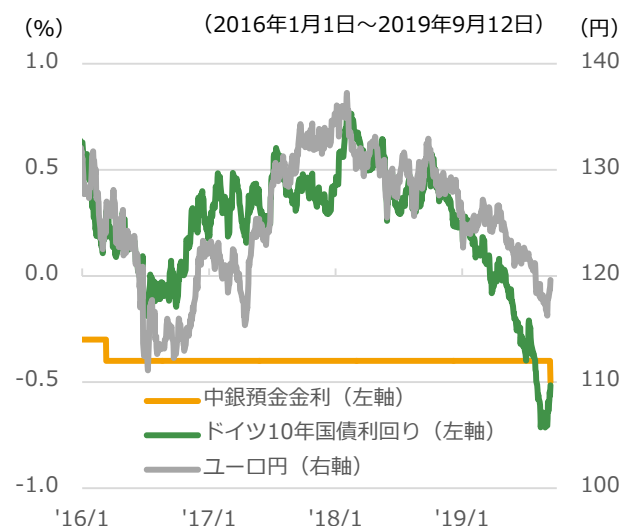
ユーロ圏のインフレ率



※コアは食品、エネルギー、アルコール、たばこを除く

（出所）欧州統計局

ユーロ圏の金利と為替



※中銀預金金利は決定日ベース

（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。